

【単年度事業評価様式】

南区地域子育て支援拠点事業 平成27年度重点目標評価結果

事業実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日(4年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人さくらザウルス 南区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。  【事業・施設運営の基本理念】 1 南区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。

平成27年度重点目標の評価

平成27年度重点目標	① 祖父母世代や父親を含む多様な利用者自身が、子育て力を高めることを入口にして、拠点での交流が進む場づくりや運営に協力する活動などに参加し、地域活動の担い手に成長できる機会をつくります。 ② 南区内の子育て支援関係機関・団体・個人が連携を深め、課題にきめ細かく対応できるネットワーク作りをさらに推進します。
取組内容	① 子育てについての基本的な理解と具体的なスキルの習得につながる内容の講座を、対象を絞って実施します。また、講座参加中から講座終了時に次の活動につながるようアプローチします。 ②-1) 子育て支援関係機関・団体・個人が身近なエリアの中で共に課題に取り組む「もっとネット地区版」の実施箇所を増やします。 ②-2) 地域子育てサロンや施設の支援会場に出向き、拠点との日常的な連携作りと、各支援会場の活動上の課題の把握に努めます。
取組の成果	* 父親向けのさまざまな取り組みを行った結果、仲間作りが促進され、「はぐはぐの樹男子会」として月例の情報交換の場の開始につながりました。また、その中から、拠点内のおはなし会で絵本の読み手として活躍する参加者もいました。 * 祖父母世代に向けては、現在の子育ての困難さとサポートの必要性を伝える取り組みを行いました。そして、1名の方が「おでかけ広場ボランティア」に登録してくださいました。 * もっとネット地区版では、新たに「蒔田・堀ノ内睦町エリア」で立ち上げることができました。睦地域ケアプラザや地域関係者と丁寧な打ち合わせを重ね、エリア内の資源の特性に合わせた参加呼びかけを行って、新たなつながり作りのきっかけになりました。 * サロンやつどいの広場を訪ねることで顔の見える関係が進み、拠点の情報等も積極的に周知していただいています。また、サロン交流会では活発な意見交換ができるように工夫して課題を顕在化させ、さらに解決に結び付けるための研修会を実施して大変好評でした。
取組の課題	* 祖父母世代へのアプローチが難しく、子育てへの理解と支援のお願いを十分に伝えることができませんでした。 * もっとネット地区版で顔の見える関係づくりや情報共有は進みましたが、連携した具体的な取り組みにつながりにくかったです。実施できている先事例に学び、どのように進めていくことが有効かを検討する必要があります。